

回収納付金の権利放棄 議会へ説明不十分

府民にも説明と報告を

Q. 北川議員 中小企業融資に関する損失補償契約の回収納付金受け取り権利放棄の条例について伺う。商工労働部の対応は、国から条例制定について再三要請があったこと、具体的な事案が発生したことで、急ぎ条例を制定することとなり、その企業のために制定するのかといった誤解を招いた。議会への説明が不十分で、行政対応としては不適切であり、このようなことのないよう厳しく指摘しておく。条例制定にあたり公正な運用を担保するため、府民及び議会に十分な説明、報告をルール化すべきである。

A. 商工労働部長 中小企業の事業再生をどうすべきか、もっと早くから議会でも議論いただいていた必要もあったと思う。ご指摘の点を深く受け止め、お詫びし、今後適切に対応する。本条例は知事が保証協会の求償権の放棄等の承認を行う場合に必要な要件を定めるもの。適用に当たっては第3条で放棄の対象について中小企業再生支援協議会、整理回収機構、事業再生ADR認定事業者など法律に基づく中立公正な機関の支援によるもので、対象企業の再生になると認められる場合に

回収納付金受け取り権利放棄とは？

制度融資の返済が困難となった中小企業に対して、信用保証協会が持つ債権の放棄を認め、府が保証協会からの回収納付金受け取りを放棄するもの。公的支援機関が手掛ける中小企業の事業再生を後押しするために行う。

限定している。議会への報告については対象案件ごとに、権利放棄日、保証協会が放棄を行った求償権の額、権利放棄の理由などについて報告し、府民には同内容をホームページで公表する。

開かずの踏切解消 京阪本線の立体交差事業

Q. 北川議員 私の地元である寝屋川市域を通る京阪本線の香里園駅周辺には踏切があり、枚方公園駅周辺まで含めると1時間当たり40分以上閉まっている「開かずの踏切」が20か所連続する区間がある。平成20年度には連続立体交差事業として着工準備採択を受け、今年度いよいよ事業が動き出す。香里園駅では高架化と合わせて整備される人工デッキにより駅東側の市街地再開発エリアと結ばれるとともに、光善寺駅、枚方公園駅でも駅前広場が整備されるなど周辺整備とあいまって、まちづくりが進んでいくものと期待している。この事業は平成40年に完成目標とのことだが、取り組み状況はどうか。

街づくりと一体で 取り組みを



A. 都市整備部長

今年3月5日に都市計画決定が告示され、今年末の事業認可取得をめどに国との協議を進めている。認可後、地域の方々に丁寧な説明を行うとともに、現地測量、用地買収に着手する。

寝屋川の密集市街地対策 都市計画道整備早急に



Q. 北川議員 最後に、私の地元である寝屋川市に数多くある密集市街地について伺う。昨年10月に国が公表した「地震時等に著しく危険な密集市街地」によると、大阪府は全国の4割を占め、寝屋川市から門真市、守口市にかけては約600ヘクタールの危険な密集市街地が広がっている。早急に取り組みを進めなければならない。延焼遮断帯として地区の

安全性を飛躍的に向上させる、都市計画道路の整備こそ必要と考える。寝屋川市の密集市街地である萱島東地区には中央を通る萱島堀溝線や池田大利地区には未整備の対馬江大利線があり、これらの道路が整備できれば、地区の一新も期待できる。府としてどう取り組んでいくのか。

A. 住宅まちづくり部長

密集市街地では防災性を高めることが緊急課題。最低限の安全性確保をめざし、都市計画手法を用いた防火規制強化など取り組んでいる。萱島堀溝線などの整備は防災性の向上に有効で、街を大きく変える上でも重要。しかし、財政状況は厳しく、国レベルの支援が必要であり、国に対し強力な助成制度が創設されるよう求めていく。都市整備部と連携し、地元市とともに密集市街地の整備を積極的に進めていく。

自民党府議団役員改選<平成25年4月30日>

<幹事長> 花谷 充愉	<副幹事長> 奴井 和幸	<総会議長> 酒井 豊
<政調会長> 宗清 皇一	<副政調会長> 出来 成元	<副政調会長> 栗原 貴子

新幹事長のもと自民党府議団一丸となって、府政に取り組んでまいります。

所属常任委員会

■総務常任	花谷 充愉	宗清 皇一	■商工労働	栗原 貴子	岡下 昌平
■府民文化	釜中 優次	北川 法夫	■環境農林水産	吉田 利幸	杉本 太平
■教育	酒井 豊	朝倉 秀実	■都市住宅	岩見 星光	
■健康福祉	奴井 和幸		■警察	出来 成元	しかた 松男